

農泊地域 事例紹介

2021年6月

一般社団法人日本ファームステイ協会
代表理事 上山康博

テーマ別 農泊の取り組み地域事例

1. 教育旅行

1. 栃木県大田原市：大田原グリーン・ツーリズム推進協議会
2. 奈良県明日香村：明日香交流人口促進協議会
3. 宮崎県小林市・えびの市・高原町：北きりしま田舎物語推進協議会

2. インバウンド

1. 北海道阿寒郡鶴居村：NPO法人美しい村・鶴居村観光協会
2. 秋田県仙北市：仙北市農山漁村体験推進協議会
3. 石川県能登町：春蘭の里・里山ステイ推進協議会（（一社）春蘭の里）

3. テーマ旅行

1. 北海道余市町：余市町観光地域づくり協議会：ウイスキー・ワインなど
2. 岐阜県下呂市：馬瀬地方自然公園づくり委員会：アクティビティ（レンタサイクル、電動バイクなど）
3. 熊本県人吉市ほか4町5村：人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会：食コンテンツ

※以下農泊地域紹介資料は農林水産省ホームページより抜粋

1. 教育旅行

1. 栃木県大田原市：大田原グリーン・ツーリズム推進協議会
2. 奈良県明日香村：明日香交流人口促進協議会
3. 宮崎県小林市・えびの市・高原町：北きりしま田舎物語推進協議会

- 中核法人（(株)大田原ツーリズム）は、大田原市の事業構想に基づく推進母体として、市と地元企業の出資により設立。
- 地域の特徴が活かせる農業体験を中心とした**教育旅行**を主力として取組んでおり、持続的な受入を行っていくために、行政機関等を巻き込んだ堅牢な体制を構築している。

【地域の概要】

栃木県大田原市



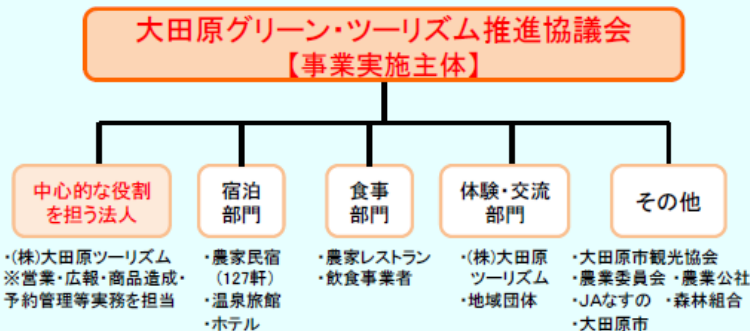
＜地域の特徴＞

- 那須野ヶ原の広大な平野部に位置し、清流・肥沃な大地・自然環境に恵まれている。
- 首都圏への食料の大供給地であり、広大な耕作地を利用して、数百名での田植えなど、大規模な農業体験の実施が可能。



那須野ヶ原

【実施体制】



＜中核法人について＞

- 平成22年に、大田原市はグリーンツーリズムによる誘客構想を策定、その推進母体として平成24年に株式会社大田原ツーリズムを設立。
- 株式会社大田原ツーリズムは市と地元企業18社からの出資を受け、民間から社長を迎えるPPP（官民パートナーシップ）形式であり、旅行業の資格を取得。
- 地域ぐるみの取組とするため、JA、森林組合、観光協会、商工会、地域住民団体等の参画を得て、協議会を設立。



安全管理研修

【取組内容】

＜品質の向上＞

- 低価格での体験では継続性がないため、利益が出る単価が設定できるよう、広大な農地を持つ地域の特徴を活かした、高付加価値の体験を行っている。
- 継続的に受入を行うための、地域作りに係る業務量を考慮し、会社が維持できる販売価格を設定。
- 協議会を中心に、受入マニュアルの整備、地域の合意形成、勉強会実施など、地域内調整やサービス品質の向上を目指す。

＜受入体制＞

- 受入を行う農家は、全て簡易宿所を取得し、旅館業として営業できる施設のみを会員とする。
- 引率教員の巡回体制や、事故発生時の緊急連絡体制を地域の関係機関を巻き込んで構築。安全管理体制に万全を期している。

＜インバウンド＞

- 高まるインバウンド需要を取り込むため、海外への営業活動・商談会へ参加。現在、主に台湾からの教育旅行の受入も実施。平成29年度は、400名を超える海外教育旅行を受入。



120以上の体験プログラム



JTBとの共同企画ツアー



座禅体験

- 訪問者数は順調に推移し、H29年の宿泊者実績はH28年対比で2割の増加となった。

- 中核法人である（一社）大和飛鳥ニューツーリズムにおいて海外も含めた**教育旅行**を受入れし、民間企業（株）J-rootsにおいて若年層・外国人の個人旅行者をターゲットに受入。
- （一社）大和飛鳥ニューツーリズムでは年間6,000泊以上の**教育旅行**の受入を実施し、（株）J-rootsの運営するゲストハウスにより、若年層やインバウンドの個人旅行者についても受入数を伸ばす。

【地域の概要】



<地域の特徴>

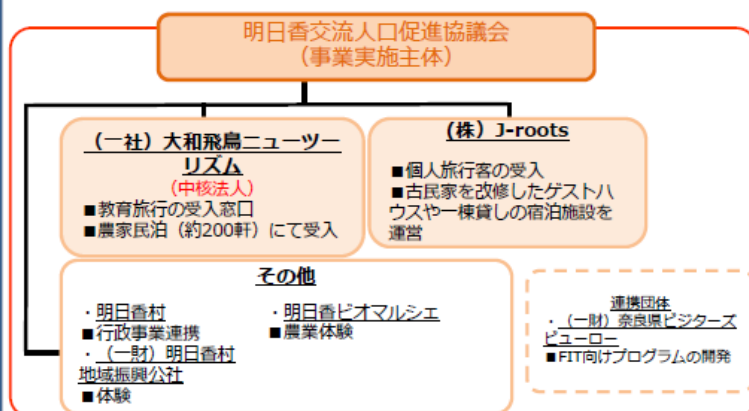
- 「日本国誕生」を示す多くの史跡・重要遺跡が累積し、村全域が古都保存法の指定を受けている。
- 「明日香法」※により、ホテルなどの宿泊施設の建設が困難。
- 明日香村と京都大学とで社会連携を結んでいる。

※「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」



稲渚の棚田

【実施体制】



<中核法人>

- 人口減少や地域を潤す産業の不在という状況のなか、観光関連産業の振興による地域の商工業の活性化を目指し、H23に中核団体である「飛鳥ニューツーリズム協議会」を設立し、H30に（一社）大和飛鳥ニューツーリズムとして法人化。商工会からも経営指導者が参画。ホームステイ型教育旅行（飛鳥民家ステイ）の受入窓口を担い、特に海外からの受入が過半数を占める。

<（株）J-roots>

- H25に商工会ならびに飛鳥ニューツーリズム協議会の関係者を株主とした株式会社を設立。
- 地域住民のほか、京都大学ビジネススクール（マーケティングについて助言）や商工会（インバウンド対応サポート）と連携し、運営。



古民家ゲストハウス

【取組内容】

<宿泊>

- 教育旅行については、民泊（約200軒）にて教育旅行の受入を実施。今後は交流を重視する個人旅行者の受入にも対応予定。
- 個人旅行については、空き家を活用したゲストハウスや1棟貸しの設立により、今までにない新しい層（若年層、外国人）をターゲット。ネット予約体制のほかWi-Fiやレンタサイクルも整備。

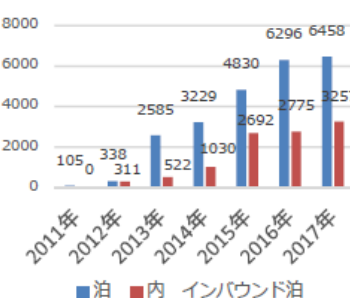


教育旅行
マレーシア高校生

<（一社）大和飛鳥ニューツーリズム>

- 一般的な教育旅行との差別化を図るため、地域住民との交流を重視したホームステイ型の受入を実施。
- 受入数は年々増加し、現在では年間6,000泊以上の受入実績を誇り、その過半数をインバウンド教育旅行が占める。
- 受入先家庭の情報について、クラウドデータベースを構築し、運営側で共有することにより、安全かつ効率的に運営し、顧客の満足度向上につなげる。

教育旅行受入実績



(出典) 協議会への聞き取り

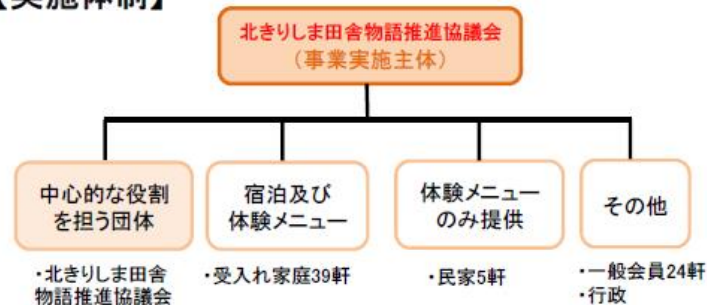
<（株）J-roots>

- 空き家改修の資金を外部資金（クラウドファンディングや融資等）により調達。
- 「顧客の獲得・消費拡大・地域認知度向上」を最大の目的として運営。
- 単事業として初年度より黒字経営を達成。

- **修学旅行**、インバウンド、ヘルスツーリズムをそれぞれ促進し、持続的かつ安定した事業となることを目指す。
- 地域で活動する民間企業や団体、各種機関とも連携を図り、法人格を取得し、事業の強化を進めていくことにより、地域の活性化を目指す。



【実施体制】



【取組内容】

○ 受入体制の強化

- ・リスクマネジメント研修会参加、講習会開催、ほんもの体験総会・フォーラムへの参加



○ 誘致活動

- ・都市部への誘致活動、海外への誘致活動



○ モニター事業

- ・プログラム開発、インバウンド及びヘルスツーリズムのモニターツアー実施



○ 受け入れ拡大のための情報発信

- ・ホームページ作成



【採択年度】
平成30年度
【事業実施期間】
平成30～31年度



【特徴的な取組】

- 受入体制の強化
- 誘致活動
- モニター事業
- 受け入れ拡大のための情報発信



誘致活動



ヘルスマニター



受入体制の強化

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約

2. インバウンド

1. 北海道阿寒郡鶴居村：NPO法人美しい村・鶴居村観光協会
2. 秋田県仙北市：仙北市農山漁村体験推進協議会
3. 石川県能登町：春蘭の里・里山ステイ推進協議会（（一社）春蘭の里）

- H30年に国家戦略特区を活用し、国内旅行業務取扱管理者資格を取得。また、地域限定の旅行業を取得し、旅行業者としてワンストップサービスの体制を構築。
- **国内外の個人旅行観光客**への対応と所得向上を目指し、HPの多言語化やカード決済システム、Wi-Fi環境、宿泊施設内の多言語表記等について受入体制を整備。

【地域の概要】



<地域の特徴>

○ 主要産業は農林業と観光業。
○ 武家屋敷を中心とした重要伝統的建造物群保存地区があり、「みちのくの小京都」と呼ばれる歴史の町である。

<仙北市の風景>

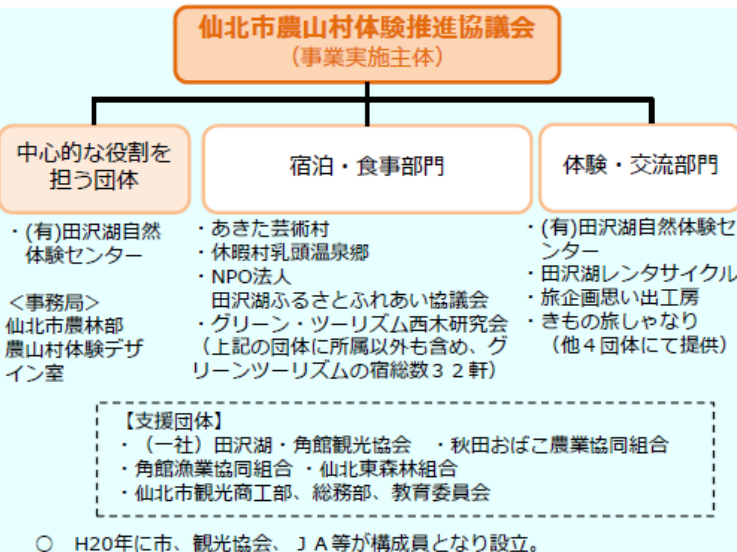


田沢湖



武家屋敷

【実施体制】



<運営体制>

- 地域限定の旅行業を取得しており、HP(英語版有り)から予約が可能なワンストップサービス体制を構築。
- 英語対応ができない宿泊施設の外国人旅行者との交流手段として、翻訳アプリを導入。
- 現在は、タイの大手旅行会社を初め様々な国の現地手配業務を行い、インバウンド受入対応強化に向けた取組を推進している。



英語版HP

【取組内容】

<宿泊>

- あきた芸術村、休暇村乳頭温泉郷、農家民宿やペンション等の運営者から構成されるNPO法人田沢湖ふるさとふれあい協議会、グリーン・ツーリズム西木研究会や上記団体所属以外のグリーンツーリズムの宿(32軒)で受入を実施。



庵農家民宿 泰山堂



農家民宿 西の家



農家民宿 輝湖



休暇村乳頭温泉郷

<誘客コンテンツ>

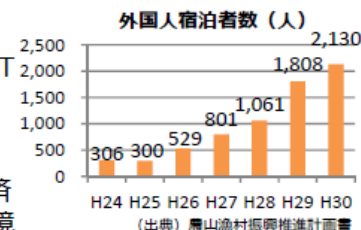
- 田沢湖・秋田駒ヶ岳等の美しい自然を活かしたラフティング等のアクティビティ、角館の武家屋敷通りでの着物着付け体験等、地域の特色を活かした数多くの体験コンテンツを実施。



着物着付け体験

<特徴的な取組>

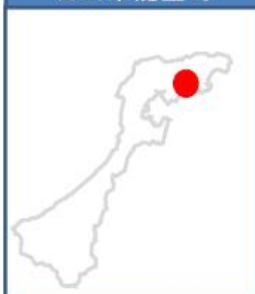
- 国際交流団体の受入に加え、FITの受け入れ数が急激に伸び、グリーンツーリズムの宿の外国人宿泊者数は年間2,130名(H30)を超える。
- 地域全体にWi-Fi環境、カード決済システム、多言語表記導入などの環境を整備。
- 国内外の個人旅行者の誘客拡大に向けて、高齢の受入農家の労力を軽減し、開業農家や泊食分離食分離、アルベルゴ・ディフーゾ(分散型ホテル)の考え方に基づく地域づくりを目指す。



インバウンドの受入

- 世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」を活かした体験・交流メニューを開発し、旅行会社と連携したファムトリップの実施などによる**インバウンド**需要の獲得を積極的に推進。
- 輪島塗の器で提供される食事、黒瓦・白壁づくりで囲炉裏のある宿泊施設など農家民宿のブランド化を進め、地域資源を活かした通年の体験・交流メニューを開発するなど他地域との差別化を図る。

石川県能登町



【採 択 年 度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度



輪島塗の御膳



農家民宿

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 黒瓦、白壁などの住宅景観や地域住民の生活様式といった、地域の景観や伝統を地域の宝として農家民宿・体験事業を実施し、国内外の教育旅行や一般客を受入れ。
- 輪島塗りの器を使用するなど農家民宿の質の向上及び宿泊受付窓口・料金の統一化や、80を超える体験メニューを整備。



農家民宿で修学旅行を受入



外国人旅行者の受入れ

【取組内容】

旅行会社と連携し、ファムトリップの実施など来訪国の拡大を図るとともに、都市部の女性やインバウンドを捉える観光地域づくりを進める。

(1) エリア設計・体制づくり

- ・滞在空間創出計画図の作成
- ・古民家を活用した一棟貸し宿泊施設の検討
- ・宿泊経営者のライフプランづくり 等

(2) インバウンド等新たな需要の獲得

- ・ファムトリップの実施
- ・顧客獲得に向けた体制づくり
- ・年間を通じた滞在メニューの開発
- ・農家民宿のブランディングと魅力向上に向けたルールづくり・共有



インバウンド推進会議



ZESDAとの業務提携式

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約

3. テーマ旅行

1. **北海道余市町**：余市町観光地域づくり協議会：ウイスキー・ワインなど
2. **岐阜県下呂市**：馬瀬地方自然公園づくり委員会：アクティビティ（レンタサイクル、電動バイクなど）
3. **熊本県人吉市ほか4町5村**：人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会：食コンテンツ

- 平成23年に国の構造改革特別区域法によるワイン特区の認定を受け、農業者が自ら生産した果実を原料としてワインやリキュールを製造し提供する農家民宿や農家レストランを営む環境を整備。
- 持続可能な体制づくりを目指し、農業・漁業・文化財施設のほか、**ウイスキーやワイン**など複数の観光資源を組み合わせた多彩なメニューの提供など、宿泊者数の増加に向けた取り組みを実施。

【地域の概要】

北海道余市町



＜地域の特徴＞

- ニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部で美しい景観、遺跡等の文化財など観光資源が豊富。
- リンゴやブドウなど北海道の果樹生産の拠点として発展。
- ニッカウヰスキー余市蒸溜所の建造物9棟が国の登録有形文化財に認定。



ニッカウヰスキー
北海道工場余市蒸溜所

【実施体制】



＜運営体制＞

- 余市町は札幌市から日帰り圏であるため、典型的な通過型観光になっていたが、平成27年に北海道版構造改革・地域再生特区に認定され、農家民宿事業の充実を目指す。滞在型の農作業体験による都市との交流を進め、販路拡大による農家所得の向上、農業の6次産業化を推進。持続可能な体制の強化のため、余市観光協会が中心となり平成30年に地域協議会を設立。

＜個性あふれる地元の人材活用＞

- 新鮮な海の幸の宝庫である余市の漁港ガイドに、水産業の歴史や営みなど豊富な知識を持つ元水産業普及指導員を活用。数少ない現役女性漁師によるウニ剥き体験も実施。
- 余市町で農業もこなす忍者エンターテイナー「嵐斬(らんざん)」と手裏剣や忍者刀を使った体験も可能。



元水産業普及指導員による
漁港散策
忍者体験
-6-

【取組内容】

＜宿泊に関する取組＞

- リンゴ農家民宿に泊まって果樹栽培の歴史を学んだり、北海道産の木材や古材を使った一棟貸の宿泊施設で地元住民との交流を楽しむ宿泊プランを販売。
- タブレットを活用し、余市町内にある宿泊施設14軒(ホテル・旅館6軒、民宿等8軒)の予約状況を一元化。余市観光協会が管理することでコーディネート機能を拡充。



農家民宿まるまつのファーム



旧余市福原漁場

＜体験に関する取組＞

- ニッカウヰスキーだけでなく、ニシン漁の歴史を今に伝える「旧余市福原漁場」、江戸時代からある運上家では唯一とされる「旧下ヨイチ運上家」などの文化財施設、余市の海産物を使った寿司握り体験、果樹園で収穫した果物の加工体験などを組み合わせた滞在型商品を販売。
- 町内には11軒のワイナリーがあり、国内で有数のワイン産地。収穫体験だけでなく、冬はスノーシューでブドウ畑散策など四季ごとのワイナリーの楽しみ方を提供。



夏のワイナリーツアー



冬のワイナリーツアー

＜PRに関する取組＞

- 余市町の魅力をまとめたミニ冊子を作成し、観光客に余市町を知ってもらうとともに、子供たちをはじめ、地域住民が歴史や産業、農泊推進の柱となる体験観光メニューなど地域の魅力を知ることによって地元の誇りを持ってもらい、観光客をガイドしながら一緒に楽しむ体制を構築。



ミニ冊子「PATHFINDER」

- 自然や歴史文化と共存しながら持続可能な農村の発展を目指す「馬瀬地方自然公園づくり委員会」を発足させ、宿泊施設や飲食店等と連携し、**レンタサイクルツアー**や食の体験の事業を展開。
- 南飛騨馬瀬川観光協会を窓口として、体験プログラムやエコツアープログラムを販売しており、（一社）下呂温泉観光協会と連携して、増加する個人旅行客やインバウンドに対応している。

【地域の概要】

岐阜県下呂市



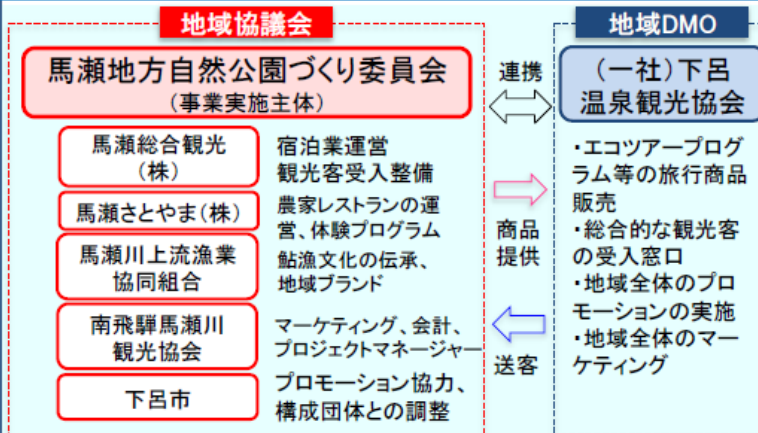
＜地域の特徴＞

- 清流馬瀬川と緑あふれる水源地域で、「日本で最も美しい村連合」に加盟。
- 清流で育まれた「馬瀬川上流鮎」や米「水源米馬瀬ひかり」など、食材の宝庫。



馬瀬川上流鮎

【実施体制】



＜中核法人＞

- フランスの「地方自然公園制度」を参考に、平成17年に「馬瀬地方自然公園づくり委員会」を設立。同委員会が主体となり、地域資源のブランド化（鮎、米等）や里山ミュージアムのガイドツアー等を実施。平成29年から、同委員会が事業実施主体となり地域協議会を構成。

＜運営体制＞

- 同委員会が中心となり、地域での受入窓口として、南飛騨馬瀬川観光協会、鮎を中心とした食事を提供する「さとやまレストランみず辺」を運営する馬瀬さとやま（株）、馬瀬川上流漁業組合、下呂市等と連携。宿泊施設として、馬瀬総合観光（株）が運営する「ホテル美輝」、料理旅館「丸八旅館」、3軒の釣り民宿があり、体験プログラムに食やホテルを組み込むなど、地域一体となった観光誘客を展開している。

【取組内容】

＜特徴的な取組＞

- 馬瀬地域の観光商品（五平餅づくり体験、レンタサイクル里旅体験等）を、エコツアープログラムとしてDMOと連携して販売。
- 馬瀬地域の電動バイクでのガイドツアー（1人8,000円～）を実施し、平成30年にはインバウンドを中心に20ヶ国以上から150名以上の参加があった。



電動バイクでの馬瀬ガイドツアー

＜地域固有の食と「SAVOR JAPAN」＞

- 「馬瀬川上流鮎」や「水源米馬瀬ひかり」などの食材、伝統的な鮎の漁法である「火ぶり鮎」、里山ガイドツアー等が評価され、平成28年に「SAVOR JAPAN」に認定された。
- 料理研究家と連携し、地域の食材を活用した「馬瀬鮎ドリア」等の食事メニューを開発。地元のホテルや飲食店で開発したメニューを販売している。



馬瀬鮎を使った馬瀬鮎ドリア

＜下呂温泉観光協会との連携＞

- 地域協議会では食や体験の観光商品の造成を実施し、地域DMOである下呂温泉観光協会に提供。地域DMOでは、造成された観光商品を販売するほか、モニターツアー等の送客を行い、地域協議会を支援。
- 下呂温泉と一体となったインバウンド対応を地域DMOが行い、観光客やメディアなどを地域に招請。



美しい農村景観が残る馬瀬里山ミュージアム

人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会 (事例⑧：農泊×食) [熊本県人吉市ほか4町5村]

- 地域内の女性が主役となって、地元産の農産物を使った郷土料理を農家民宿や農家レストランで提供するとともに、農家独自で開発した農産加工品を地域へ訪れる旅行者等へ販売。
- 持続可能な地域の実現に向けて、若手人材の育成及び地域コーディネート等を目的に協議会の法人化を行うとともに、泊食分離等を踏まえた地域一体型経営を目指す。

【地域の概要】

熊本県人吉球磨地域



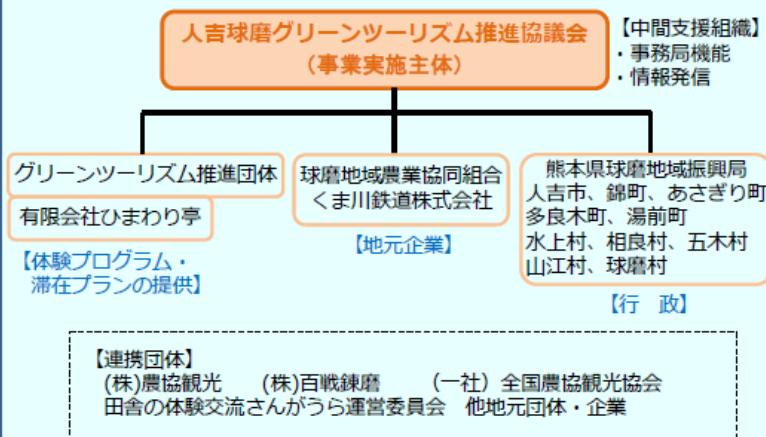
＜地域の特徴＞

- 相良藩700年の歴史と独特な文化が数多く残ることから、作家の司馬遼太郎に「日本で最も豊かな隠れ里」と称され、日本遺産に認定。
- 熊本市、宮崎市、鹿児島市のほぼ中心部に位置し、人吉市から各都市までは、車で約1時間。



日本棚田百選「松谷棚田」

【実施体制】



＜協議会の概要＞

- 人吉球磨10市町村の広域連携により、地域の豊かな資源を活かしたグリーンツーリズムを推進することで、都市と農山村交流を図り、活力ある持続可能な地域を実現することを目的にH18年に協議会を設立。
- 持続可能な地域の実現に向けて、H31年に一般社団法人化。

＜農家の取組体制＞

- 地域内の農産物を地域外からの多くの旅行者に知ってもらうため、パッケージの工夫や少量での販売を実施。
- 農家独自で農産物の加工品化に取り組み、積極的に販売。

【農作物販売（直売）事例】

- 合鴨米 600円/kg
- 漆黒米 1,000円/kg
- えごま油 2,000円/105cc



アイガモ米

【取組内容】

＜宿泊＞

- 人吉球磨地域10市町村内で簡易宿所の営業許可を受けている農家民宿19軒で宿泊を受入し、「本物のおもてなし」として、地元産の農産物を使用した郷土料理を提供。
- 主な宿泊者は、個人旅行者であり、H29年の延べ宿泊者数は1,238人泊。



農家の宿 茶乃実

＜食を中心とした取組＞

- H28年にオープンした「食・農・人総合研究所リュウキンカの郷」を中心に食に関する研修等の事業を展開。
- 心、身体、地域を育む健康的な食事で、都市と農村をつなぐ「命の食」を実践。また、地域住民や農家民宿実践者を対象に定期的に料理・食文化研修を実施。
- JR九州観光列車（SL人吉）で提供する弁当を手掛け、観光と連携。



リュウキンカの郷



JR観光列車への弁当提供

＜誘客コンテンツ＞

- 日本棚田百選に選ばれた「松谷棚田」や世界かんがい施設遺産の「幸野溝、百太郎溝水路群」を活かしたフットパス等を提供。
- 現在、「相良三十三観音めぐり」、「球磨焼酎蔵めぐり」等、日本遺産を活用した体験プログラムと滞在プランを開発中。
- 有限会社ひまわり亭では、月替わりの郷土料理を提供。



ひまわり亭



ひまわり御膳 (8月)



あさぎり御膳 (12月)



インバウンド研修ツアー